

グローバルCOEプログラム「サイバニクス：人・機械・情報系の融合複合」  
研究補助員（リサーチ・アシスタント） 応募フォーム

1. 申請資格等

(フリガナ) 氏名	①	性別	
国籍			
生年月日	昭和 年 月 日生 (平成 21 年 4 月 1 日現在 歳)		

学歴	1.平成 年 月 大学 学部 学科卒 2.平成 年 月 大学 大学院 修士課程入学 ( 研究科 専攻)		
研究・職歴	1.平成 年 月 ～ 平成 年 月 2.		

研究課題 【40字以内】 ※化学式・数式の使用は極力避けること。			
--	--	--	--

現在の 研究指導者	(フリガナ) 氏名		職名	
	研究科・専攻名	大学院	研究科・	専攻
採用後の 受入研究者	(フリガナ) 氏名		職名	
	研究科・専攻名	大学院	研究科・	専攻

◎連絡先

現住所	〒 電話番号：( ) - (内線) 携帯電話番号： - - FAX 番号：( ) - e-mail：		
所属機関名 ・所在地	〒 電話番号：( ) - (内線) FAX 番号：( ) - e-mail：		

特別研究員 申請歴	<input type="checkbox"/> 現在、平成 21 年度分の日本学術振興会特別研究員 (DC1・DC2) に申請中である。 <input type="checkbox"/> 過去に、日本学術振興会特別研究員に申請し、不採用になった。 <input type="checkbox"/> 日本学術振興会特別研究員に一度も申請したことはない。		
--------------	--	--	--

**2. 現在までの研究状況**（図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること。様式の改変・追加は不可(以下同様)）

- ①これまでの研究の背景、問題点、解決策、研究目的、研究方法、特色と独創的な点について当該分野の重要文献を挙げて記述すること。
  - ②申請者のこれまでの研究経過及び得られた結果について、問題点を含め①で記載したことと関連づけて説明すること。
- なお、これまでの研究結果を論文あるいは学会等で発表している場合には、申請者が担当した部分を明らかにして、それらの内容を記述すること。

**3. これからの研究計画**

**(1) 研究の背景**

- 2. で述べた研究状況を踏まえ、これからの研究計画の背景、問題点、解決すべき点、着想に至った経緯等について参考文献を挙げて記入すること。

**(2) 研究目的・内容** (図表を含めてもよいので、わかりやすく記述すること)

- ①研究目的、研究方法、研究内容について記述すること。
- ②どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、具体的に記入すること。
- ③なお共同研究の場合には、申請者が担当する部分を明らかにすること。
- ④研究計画の期間中に異なった研究機関（外国の研究機関等を含む）において研究に従事することを予定している場合はその旨を記載すること。

**(3) 研究の特色・独創的な点**

次の項目について記載すること。

- ①これまでの先行研究等があれば、それらと比較して、本研究の特色、着眼点、独創的な点
- ②国内外の関連する研究の中での当該研究の位置づけ、意義
- ③本研究が完成したとき予想されるインパクト及び将来の見通し

#### (4) 年次計画

(平成 21 年度)

(平成 22 年度)

(平成 23 年度)

#### 5. 自己評価

申請者本人による自己評価を次の項目毎に記入すること。

①研究職を志望する動機、目指す研究者像、自己の長所等

②自己評価する上で、特に重要と思われる事項（特に優れた学業成績，受賞歴，飛び級入学，留学経験，特色ある学外活動など）

4. 研究業績（下記の項目について申請者が中心的な役割を果たしたものがある場合は項目に区分して記載すること。申請者にアンダーラインを付すこと）

(1) 学術雑誌等（紀要・論文集等も含む）に発表した論文又は著書（査読の有無を区分して記載すること。査読のある場合、印刷済及び採録決定済のものに限り、査読中・投稿中のものは除く）

①著者（申請者を含む全員の氏名を、論文と同一の順番とする）、題名、掲載誌名、発行所、巻号、pp 開始頁－最終頁、発行年をこの順で記入すること。なお、著者の所属・職については脚注に記載すること。

②採録決定済のものについては、それを証明できるものをP.8の後に添付すること。

(2) 学術雑誌等又は商業誌における解説、総説

(3) 国際会議における発表（口頭・ポスターの別、査読の有無を区分して記載すること）

著者（申請者を含む全員の氏名を、論文等と同一の順番で記載すること）、題名、発表した学会名、論文等の番号、場所、月・年を記載すること。発表者に○印を付すこと。

(4) 国内学会・シンポジウム等における発表

(3)と同様に記載すること。

(5) 特許等（申請中、公開中、取得を明記すること。ただし、申請中のもので詳細を記述できない場合は概要のみの記述でよい。）